

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【併用】感情・人格心理学		
担当者(Instructors)	松田 凌	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline) 「感情」や「人格」は古くから心理学分野における主要な研究テーマとされてきた。また私たちが適応的な生活を営むうえで重要な特性であり、これらが上手く機能しなくなることによって様々な障害が生じる。本授業では、心理学研究における感情や人格に関する様々な理論、測定法や障害について学び、感情心理学、人格心理学の基礎を理解することを目指す。
--

■ 授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義形式で行う。適宜授業内でミニレポートの提出を求める。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	感情とは（オリエンテーション）	本授業についてのオリエンテーションと、心理学研究における感情の基礎について学ぶ。	□
第2回	感情の諸理論	感情についての古典的な理論（抹消起源説、中枢起源説、顔面フィードバック説など）や基本的感情説、次元説について学ぶ。	□
第3回	感情と行動	進化論における感情の役割や感情の制御、社会的行動との関連について学ぶ。	□
第4回	感情の生物学的基礎	感情の処理と関わる神経活動（扁桃体、前頭眼窩野、HPA系など）や認知、遺伝的要因について学ぶ。	□
第5回	感情の測定	質問紙法や生理学的測定法を用いた感情の測定について学ぶ。	□
第6回	感情の障害	感情の障害（不安障害や抑うつ障害、双極性障害など）やその治療法（自律訓練法、マインドフルネスなど）について学ぶ。	□
第7回	人格とは	人格（性格、パーソナリティ）の基礎について学ぶ。	□
第8回	人格の諸理論①	人格についての様々な理論（類型論、特性論、ビッグ・ファイブ）や研究史について学ぶ。	□
第9回	人格の諸理論②	人格についての様々な理論（類型論、特性論、ビッグ・ファイブ）や研究史について学ぶ。	□
第10回	人格の形成や変容	人格の形成や変容に関する遺伝的要因、環境的要因について学ぶ。	□
第11回	人格の測定	質問紙法や投影法、作業検査法など性格検査について学ぶ。	□
第12回	人格の障害	パーソナリティ障害を中心とした人格の障害について学ぶ。	□
第13回	知的機能の個人差	知的機能の概念や歴史、測定法について学ぶ。	□
第14回	知的機能の障害	知的機能の障害について学ぶ。	□
第15回	まとめ	本講義のまとめを行う。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)
授業前に、各テーマや用語について調べ、事前学習する（2時間程度）。授業後は、授業で学んだ内容について配布資料を参考に復習する（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)
提出されたミニレポートは翌週の講義の冒頭でまとめてフィードバックを行い、全体で共有する機会を持つ。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019人間健康DP2	私たちの生活における感情や人格の機能、役割について理解し、社会的なサポートの必要性や解決方法を探求できる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
70%			30%	

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	感情心理学・入門 大平英樹（編） 有斐閣アルマ	
2	性格心理学への招待〔改訂版〕 詫摩武俊他 サイエンス社	
3		
4		
5		